

◎3月20日(祝)開催 第3134例会  
単独例会

### 第55回ヒヨコ六甲全山縦走大会

旗振支部 林 洋治

今年は天候不順。昨年末から寒波が次々に押し寄せ、日本海側では例年以上に積雪量が多かった。だがここ3月に入ると急に暖かくなりもう彼方此方で桜が満開に！一週間前から縦走日が豪雨の予報にヤキモキ。当日、午後から雨予報だが、朝は雨雲の一片も見当たらない晴れ。

定刻どおり

6時10分、  
小学生4名を  
含む総勢17  
名で元気よく  
レッツゴー！



スタートのJR塩屋駅

絶好の日和に足取りも軽く、旗振山・梅尾山も難なく通過。皆さん元気な内に横尾山で記念写真。

今年は、禅昌寺付近の道路整備で何時ものヒヨコ道(禅昌寺



尾根)が通れないので東山から市の全縦コース。

圧巻の須磨アルプスもちょっとへっぴり腰だが難なく通過。



思わず子供ら飛び跳ねる。

第1チェックポイントの高取山9:40分。ここでホカホカの饅頭とホットレモンをいただいて腹ごしらえ。



高取山安井茶屋前広場にて

丸山の街を過ぎるといよいよここから縦走の醍醐味、菊水・鍋蓋の登りが間近。菊水山の麓にてちょっと一息入れるのが常道。

顔は笑っているがなんかもう疲れたな～



桜も咲いたし花見しましょう！

今回の全山縦走挑戦者は、旗振支部の高齢者チームと小学生4名を含む保久良支部母子の親子チームに大別される。この菊水山の登りはいつ来ても骨が折れる。ん～旗振チームは少し痛んだ様子。少々の遅れが！菊水山着11時40分。



菊水山、皆さん揃ったところで記念写真

やっと登った菊水山、一息つく暇もなく次は鍋蓋山への挑戦。

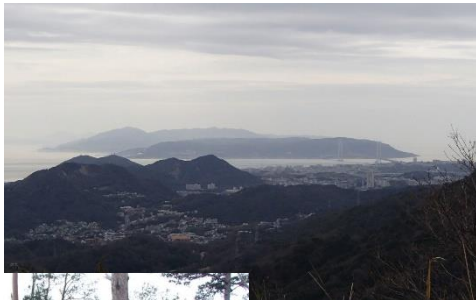
大人の疲れをよそに子供たちはまだまだ元気一杯。この子供たちは、当会の毎日登山のほか、



トレーニングを積んでいるとのことと、ほんとに疲れ知らず。鍋蓋へ先行し、大人達を待つ。

鍋蓋山 12時50分。午前中の経路須磨方向を振り向くと何時しか青空から曇天へ。

鍋蓋山を下山すると、縦走路



の1/2通過点の再度山大龍寺。

午後から天気崩れるとの予報あり、会として

はここで切り上げることにした。

今回、踏破者にゴールで渡す予定だった美味し

い神戸スイーツをここで皆さんにお渡した。



疲れた体に美味しいスイーツを！

少しお疲

れの旗振チームはここで終了。保久良親子チーム8名は、行けるところまで先に進みたいとの意思が堅かったので、この先、私と布引支部南部さんがサポートとして同行。



市ケ原でトイシ休憩の後、後半の難所天狗道へと進む。

天狗道といえ

どもこの子達にとっては、慣れ親しんだ道なのだろう。難なくクリヤー。摩耶山掬星台着 15時40分。右の花桃、いつものように満開でお出迎。



この掬星台で山口君のお父さんと小野田さんのお母さんが私設エイドを開いて待って下さっていた。美味しいコーヒー、美味しいお菓子をいただき気力再充填。なお、この後も記念碑台下、一軒茶屋前にも車で移動して待っていて下さった。感謝感激！



全縦走路の距離上で掬星台はやっと半分過ぎたぐらいだが疲労度上

からは2/3ぐらいで残り僅か。

ここは三国池下(ドライブウェイ)。もう急な登りもなく楽々行けるはず！



記念碑台下、予定より1時間遅れの17時10分。この辺りから雨が降り出した。雨具で完全武装して、時間も圧して来たのでできるだけ楽な道わきを行く。



記念碑台から一軒茶屋辺りが天気予報通り風雨が強く、それに六甲山頂近くで標高も高いので気温も急降下。ちょっと不安がよぎる。一軒茶屋18時20分。ここの新築のレストランすごくいいですね！神戸市も六甲ハイキングに力点を入れ始めたのかな！

ここで最後のエイドを開いて待って下さった。暖かなカップ麺やお味噌汁いただいて気力復活。

何とか宝塚までたどりつけそう！



六甲ドライブウェイ分岐から縦走路に入ったのが19時丁度。ここまで雨風が酷かったのが急におとなしくなった。雨は少雨、木立に遮られ風も緩み、縦走路もほとんど泥濘がない。真っ暗闇の中、ライト灯りだけを頼りにひたすら下山。宝塚への下りに入って、小雨とはいえ地面が濡れて、休憩もままならず、立ったままの小休止を2, 3回。そんな中、女の子らの歌声が天使のように心地よく響き、癒される。分岐から2時間半の21時30分、塩尾寺到着。



塩尾寺前

さすがに塩尾寺到着時には子供らは疲れと睡魔でお疲れのご様子。塩尾寺前からゴールの広場まで20分ほどで下りのアスファルト道なのだがこれが結構辛い。この親子チームは本当に健脚ぞろいだった。

私は全山縦走を体力の指標として半世紀近く。あと10年は頑張りたいのだが、どんな体力になっているだろうか？その時、この子らはとうに成人、腰の曲がった私をサポートしてもらいたいのだが。

こんな過酷な条件下、子供たちにとっては貴重な経験になったのでは。今後の彼らの人生にいろんな困難が立ちはだかるだろうがこんなしんどいことがクリヤーできたのだから難なく乗り越えていけるだろう。

この子らの未来に栄光あれ！！